

用特無限

良後

アサヒ

サンライズ

ミスター

自轉車

宮田製作所

有名自轉車店

エマアサヒ

エムエス



共進前見物

五樂天地

△灌漑事業と現物▽

△随分大きいもの▽

△奇麗に掃除され▽

△青島大時化

井上侯の病篤

振った餘興

馬賊と格闘す

京券連師匠招待

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

天長節の御祝賀

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

死刑宣告

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

水原覚悟の轢死

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

伯林狼狽

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

鋪設拜観許可

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

今日からまた楽しく学校へ

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

休暇中の成績審査

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞新販賣所











刊·休無中年

(刊休日翌日祝祭大)

[illegible]

東京帝國大學講師 鳥居龍藏氏談

の儀は先づ慈摩とであるが曩に  
て北方鮮人と今の満洲人は獨  
に於けるのみならず、其風俗  
これを人類學上の立場から云へば  
維新に亡ぶるとも石室庵の佛像は昔

も文化も言語も同一の系統を引てゐるやうである。彼の朝鮮で稱する『女』アまたは『ヤン』の如きも、蒙古語の『ホー』と同一で、『蒙古』や『滿洲』等のシキヤン族の方から見てゐる顔白い點であつて一近頃白鳥博士も朝鮮語と滿洲語と並タングス語との同一系統にある事を立證されてゐるやうだが、是を以て觀るも朝鮮人は餘程北方的の色彩を帯びて居るのである。又自分の考へては朝鮮の有史以前と三國時代の間の條々く三國時代（實に南方に於て）なるものが頗る古い年代であつたと思ふのである從來普通三國時代と稱せられて居るのは、自分を以て觀れば誠に此の麗唐の時代の事を指して稱せられてゐるやうで彼の『魏志』紀載の三國時代の如きは、實に自分の云ふ三國時代の末期であると思ふのである。其れは金源貝家をクロノロジーとして應用すると石器時代（有史以前）の次に金屬を使用し漁獵せる時代がある、これは三國時代の前期と云ひたい。斯の如く朝鮮人種なるものは、上古の有史以前より陸續に陸進したつて種族であつて、只だ南方には一の×民族を有するばかり、此の點は大に注意すべきであると思ふ。語は近頃は又彼の忠清南道恩祿郡の恩津關勅の體に就ては自分は頗る興味を有つてゐるが、あの佛像の體が四方形を爲して眼が細長いこの形式の佛像は忠清道や全羅道等に多く見れる所である。これは決して他道に見られぬ特徴である、然るに面白いのは今でもあの邊の人間の體格を觀ると、其の佛像に強く似た體を見ることが出来る。又廣州府龍巖の佛像の如きも私は敢て言ふに述べたが、其當時の人間の寫生ならんと思はるゝのは、今日でもあの邊の人間の體格を調べるに『札々』の字形の眉毛を有つた眼の細長い同様の如き人間を見出す事があつた。殊に此の型は婦人に多いやうだから、此の點から考へると石窟佛の佛像は新羅時代の婦人の或は美男の王族か富女の貌をもモデルとしたものでは無かりかつ又彌陀菩薩像を大型の如く彫刻した技倆も決して見過す譯にはいかないものである。倭寇こから考へることも格現今韓國巴で希臘時代の彫刻を研究するのに多島湖の島を住民を比較研究するやうなもので、此の意

のまゝに殘ころ大氣でわれは單に奇重品とは思はず殆んど新羅時代の生きたる人間に屬するものではないかと思ふ。其の佛像の容姿に就て實際體面と其し論文を起草したいと思つてゐる。怎樣意味から云へば自分の試み一つある朝鮮各道の人間の身體調査を精密に觀察する數千人を以て現地に其の分布地圖を作つたならば、別に其の分布地圖を以てその民族關係に關する語言はすべてその民族關係に關し系統的に見ることが能きと思ふ。又これに目下金澤博士の試みつゝある朝鮮方言の調査と相伴うたならば何等かの面白い事實が現はると思ふ。

停雲詩集  
江閩早秋抑秋 竹圃韓輓敘  
江閩開陽早秋 劍心許思未會收事  
掠時光橫古渡 幽蘭照長湖 炎涼歷歷已歸無時覺 雁聲何復似日休 露熱不能侵骨 吾家從此爽風流  
之學日 早有潘安之意思  
同 夢蓮 宋志宛  
苦經長夏過新秋 玉宗 乍清星火流 寒衣露霽臨露聲 疎篴風動篆煙浮 感懷自遜陳陶隱 逸興還須赤壁游 陰晴酒日欲去 一輪明月滑江樓  
之學日 蓮靜  
同 撫  
登臨古渡發層樓 樓倚奇巖望村樹 珠箔波生殘暑歛 蒲荷影散彩輝消 金鑊欲銷紅花落 畫船西向西湖流 酒醒驚肥甘爽 蕭蕭雨後江上秋  
之學日 吾心亦在  
同 蘭  
古閣入清秋 柳聲滿樹涼 酒後詩心動 夕陽一掃空  
之學日 第一句無照有遺、  
きうしなくあり

共進會場 說明  
始設於昭和紀念館附設野車共進會  
九月十日 日曜日 京城幸福宮に於て  
會場には景福宮内七萬二千坪の廣闊な地を充用し御政殿、安泰殿、慶會堂等主要なる建物を使用する外各種の陳列館を新築設備し、使用建築總計五千二百二十六坪なり此に建ち入りてのそれと比較して規模上に大なり而して其經費は總督府本府及地方費及び民間の寄附に依る各地敷算より五十萬圓を支出し外に地方教育の費用を合し約七十萬圓に上る

1(第一號館)營林廠附設物産館  
2機械館  
3音樂堂  
4參考館  
5第二號館  
6審勢館  
7鐵道局演藝館  
8養魚場  
9正門前  
10東招

西六判類美裝三卅百廿  
插畫寫真版約三十頁  
定價九拾錢  
(郵政內掛金八錢)

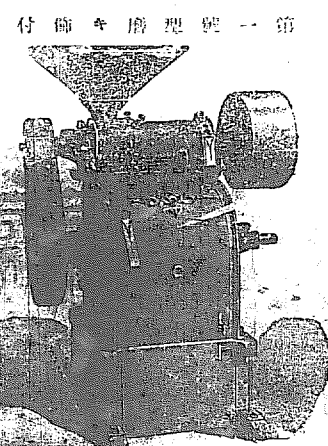
健筆縱橫  
近來の一大  
快著出づ！

[illegible]

東京 神田 富山 房 振一



工 國製最新式  
ン 磨擦精米機  
ゲ  
バルク



今回新式中式第七號型第八號  
型製作輸入せり本機精白  
高は大第一號一差大し

營 業 科 目

(武明書局印)

提其滑鐵馬粉肥製精最摩  
械他慶力挽料新  
米緊計排式形兼用未新  
油藥品油石石動機製  
各廠名德用油石石動機製  
種草種並向調備設機機機  
型

直輸入元會我商店出張所



懷中要藥

清心丹は旅に携帶樂しとて帳可からざる良藥にして汽車  
清心丹は面赤氣急を治し頭風寒を排し咽喉を潤し唇燥を消  
清心丹はならしむる特効有るを以て發賣家其他陳列規程必携劑  
清心丹は遠近之藥口に合ふと非ざるを以て惠顧することなし  
清心丹は風寒咳嗽水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づ  
清心丹は用抑れ其患ひあかりしむ  
清心丹は過潤過食之燥體を解し消化を良好ならしむること妙  
清心丹は風寒寒あかりにて下痢腹には三四十粒乃至四十粒を  
清心丹は暖き三三四回抑れに必らず奇効あり  
清心丹は傳染流行地に於ては常に二三粒啗用て大に豫防  
清心丹は人魚の面靨南興兵衛名偵へ御注意之上御求を乞  
清心丹は定價金一圓箱入五十錢一箱入卅錢十五錢罐入廿  
清心丹は十五錢罐入の口を開く  
清心丹は製造所は東京市日本橋區元大町八番地にしと販  
清心丹は全國到ち所の有名藥店にて販賣



### 井上侯興津に薨去す

薨去の如く一日午前九時突然薨去したる井上侯興津の治癒も其効なく同日十一時薨去せり享年八十一歳(一日午後十時東京電)

### 待望頭御差遣

天皇陛下は、井上侯の薨去に際し、御慰問の爲め、御頭差遣の旨を、井上侯の御子に下されり。

### 列強大戦亂電報

成功せる石井男の訪英

### 高加索方面露軍大捷

土兵五千を捕虜とし二千を殺し

### 露軍奮闘

露軍は、高加索方面の戦線に於て、多大の戦果を挙げ、土兵五千を捕虜とし、二千を殺し、機銃六門及び多数の弾薬を獲たり(倫敦電)

### 武器製造協議

露英は、武器製造の協定を締結し、互に武器の製造を奨励する事とせり。

### 海外貿易出超

大蔵省の発表に依れば、海外貿易の出超は、前年比で、約一億四千九百四十万に達せり。

### 海軍艦長移動

海軍省は、海軍艦長の移動を、次の如く決定せり。

### 二華族の襲撃

日清戦争の戦功を以て、二華族が襲撃を受け、死亡せり。

### 野田副總裁

野田副總裁は、一日、東京に於て、記者会見を行い、其の要旨を述べたり。

### 星野大佐

星野大佐は、一日、東京に於て、記者会見を行い、其の要旨を述べたり。

### 天長節奉祝電

天皇陛下は、天長節の御慶びに、各界の御祝電を、御覽下されり。

### 威鏡支線豫測

威鏡支線の豫測は、九月に於て、完成せり。

### 最近京城金融

京城の金融は、最近、安定を來せり。

### 水原紹介設備

水原の紹介設備は、近日、完成せり。

### 演藝館竣工

演藝館の竣工は、近日、完成せり。

### 協賛會理事會

協賛會の理事會は、近日、開會せり。

### 京城案内印刷

京城案内の印刷は、近日、完成せり。

### 鐵道無償交渉

鐵道の無償交渉は、近日、進行中。

### 人夢病調査

人夢病の調査は、近日、進行中。

### 三宅博士渡鮮

三宅博士は、近日、鮮に渡り、調査を行はせり。

### 高橋君のトタン

高橋君のトタンは、近日、完成せり。

### 金剛山自動車復舊

金剛山の自動車は、近日、復舊せり。

### 川村師團長出張

川村師團長は、近日、出張せり。

### 熊谷氏歓迎會

熊谷氏の歓迎會は、近日、開催せり。

### 入事消息

入事消息は、近日、進行中。

### 京城の大災保險

京城の大災保險は、近日、進行中。

### 矢野動物園來る

矢野動物園は、近日、來る。

### 仁川協賛會

仁川協賛會は、近日、進行中。

### 大阪朝日新聞新販賣所

大阪朝日新聞の新販賣所は、近日、開設せり。

### 保險金受領廣告

保險金の受領廣告は、近日、進行中。

### 文章世界

文章世界の広告は、近日、進行中。

### 英語世界

英語世界の広告は、近日、進行中。

### 移轉と擴張

移轉と擴張の広告は、近日、進行中。

### 金物部の新設

金物部の新設の広告は、近日、進行中。

### 石炭並に木炭

石炭並に木炭の広告は、近日、進行中。

### 石炭並に木炭

石炭並に木炭の広告は、近日、進行中。

### 石炭並に木炭

石炭並に木炭の広告は、近日、進行中。

### 石炭並に木炭

石炭並に木炭の広告は、近日、進行中。



國分李王職事務官談

侯は今年八十一歳

政治の要諦を説き

財政の困難を整理

シゴル  
は羊の屑の骨を焼いてそれで別斷する非

今日が  
五ノ六

これ  
さ  
は  
其  
雲  
に  
結  
ん  
た  
い  
て  
明  
け  
や  
銀  
の  
雲

英國海峽  
汽船航路

死と影響 せない

位の物で實際現  
**超弩級型**が十二

る。この世界を運ぶ海運界は日本の

可き時である

し、場の訓話を爲したり

に於ける衛生上の施設は漸次

たるが這回の共進會を期として

被害者たるが市内全部の浸漬を

て之に投入させる機宜施す

方が同朝鮮人は豫てより精神

●荒縄にて結ぶ

同里二十五統二戶李炳植

有形の儘讓る希望者至急來参

本校生徒若干名

本校に問合あり電話一七八九

同對介

易經通義

特系片選

城府漢江通十六番地 帝國

運相當教育ある當地に確實の  
ある者十月六日迄に  
寺座

房女事務員會計及

勞集 女子有給從事員十名  
高等小學卒業程度年

電話三六三番 西村商

名採用す希望者は履歷書持

蓬萊生命保險和友會社京城

棟全部又は一棟宛此際極め

普一四兩金三錢

坂太平通電話四八八番大正

10

1



番衆浪人  
簡井年峰醫

我等一應や再

門外閑言  
 春川 晚鐘 生  
 詩歌は心の眞實の叫びであり、生  
 白であり、信念であり。外界に對  
 する諦めであり、怒嘆であり、涙仰  
 あらねばならぬ。詩歌に盛られた  
 内容が時代と共に更新されるべき  
 のなると共に、其外殻も自ら變化  
 すべきものである。

10

生の特種的味ひを質面に又整形的表現すべきである。  
 吾人の趣味性は多種多様である。眞實に生の姿を歌はんとするの態の詩歌を愛すると共に、多少生を笑し茶化せんとする如き、哀果一本派をも抱つるものでない。同情、包容量少なき輩、只管狹隘な自己の趣味にのみ執着して他を排し、冷嘲し、更に感情に耽ち來れての人身攻撃するに至りては則ちに神經鋭敏を恃長とする詩人とははなから同胞たる吾人として其狂暴して雅量の無きに一片慨然の情を

て一つしか無きものを千も二つもあ  
如く澤山あるんだから嚴格にやら  
なくてははねえんぢやない麼で預つたのぢや  
ないんだからさ商賈柄にも似つ余  
然然たらざるを得なかつた折角の  
意が難に隨だ 同朋生 ▲本年九月  
日貴紙に記載されたる成北道廳上  
共進會に考古資料として出品ある  
寶子乘經臺明鏡の裏面には模様の  
間に幸村國幹字と篆刻あり文餘後  
除吾が隊士が持來りたるものなら  
この譯なるが僕が先明當地野人古  
商より買取りたる銅製圓形古鏡に

染めたといへぬ

髪かみの染方そめかた

従来の人々の染めた髪を見ると、何にも際立つて態とらしく、色澤も一般の人の髪と違つて、一見染めと分ります、其上其髪は黒い色ばかりに附き、暗る物何にでも、直に掛けて終ふといふ工合で、自然の美い髪の毛のやうな色澤に染毛剤は在りませんでした。

これ共其後染毛剤は追々進歩し

民日都てまそ中央新以下全陸  
ます誰てもバカキで東京安愛有則  
開書刊書で選上す

患者に告ぐ

新新聞の間に非常な賞讃を受けて居る  
二の東京病院へ申込大縮こわし説

# そと煙草

修訂二日 田中商會  
五番 東洋製藥合會社

(星達書明説用使)

**日本郵船出帆**

大連	天津	釜山	正午出帆
九月十五日	九月十五日	九月十五日	正午出帆
九月十八日	九月十八日	九月十八日	正午出帆

電報 川崎 船場 十番 堀内 濱部

**汽船釜山出帆廣告**

○四司、神戶、大阪行  
小倉丸 九月十日 十四日發五時出帆  
○元山、城津、浦鹽行  
小倉丸 九月 二日發十時出帆  
○神戶、神戶、大阪行  
立神丸 九月 七日發五時出帆  
○元山、清津、浦鹽行  
立神丸 九月十六日發十時出帆  
○元山、西浦津、新浦、城津、清津行  
第三琴平丸 九月十二日發九時出帆  
○門司、吉品、神戶、大阪行  
第三琴平丸 九月 二日發六時出帆  
○佐須美、原京、釜山、豐多行  
天眞丸 每月三日發  
天眞丸 九月廿一日廿六日 午後十時出帆  
本船取扱所 大池田 澤部

瓢の旗風 (540)  
番衆浪人  
簡井年條書

ハ、ハ、ハ、と修驗者は何氣無い聲で笑つて。  
「御坊はどうやら、勢州あたりのに  
らしナシ。」  
「エ」と仁太夫は一寸驚いたが。  
「如何にも勢州の膳房に、久しう居  
たものぢやが……」

耳障りの言語を引張り出すのも考  
 ものである  
 内容に就ても佛を恣にするも  
 理に立つもの、熱するもの、冷眼  
 するもの、冥想するもの、驚異する  
 の、嘆美するもの、皮肉くするもの

いものが市街美を損する事甚し  
 (洋行戻り) 活動寫眞を見に行く  
 撮影中女中が客を案内して視界を  
 するので不快に堪へぬ腰を低くし  
 成るべく防壁せぬやうに注意し給  
 (定運) 仁川某料亭に低頭して預  
 けを賈に行き名刺を持て来たつたこ

毛を牛けい

醫學士が實驗の上責任を以て現世すべき責任あることを證明せられたローエル液(べき)を其他身體中あるべき所に毛なき

秀代丸  
 九月四日  
 後四時  
 出帆  
 君代丸  
 九月十日  
 後四時  
 出帆  
 神代丸  
 九月十日  
 後四時  
 出帆  
 大板行  
 九月十日  
 後四時  
 出帆  
 土海丸  
 九月十日  
 後四時  
 出帆  
 仁科屋  
 九月十日  
 後四時  
 出帆  
 高杉  
 九月十日  
 後四時  
 出帆

A black and white woodblock print illustration of a person in traditional Japanese attire. The figure is standing outdoors, possibly in a garden or field, with sparse foliage and a fence visible in the background. The person is wearing a wide-brimmed hat, a dark robe with a light-colored sash, and light-colored pants. They are holding a long staff or walking stick in their right hand and have their left hand raised to their forehead. The style is characteristic of Edo-period Japanese art, with bold lines and a focus on the figure's pose and clothing.

身體營養を缺き、鍛練を缺き、  
經費親し、精神迷うて定住する所  
く、遠なる現實的快樂主義や、反  
的自落思想の漲きつゝある現  
青年界を覺醒せんには總ての方面  
力ある思想を要するのである、嗚呼  
吾人の思ふ所は他の思ふ所の詩と  
り美とする所、異とし善とする所、  
異なるものあらんか

新刊と批評 批評家諸君の御注意  
（此書は御座るの御注意）

▲婦人畫報 九號 表紙の秋篠葵 石川  
治）に於ける春菜と粉の粉の實情、秋の氣  
先しはあはれきたる、而して粉の氣  
博士、尼年の詩、富田川博、新衣  
か、趣情好む好む、新衣、新衣、  
に益、趣情好む好む、新衣、新衣、  
町、益、趣情好む好む、新衣、新衣、  
▲婦女界 九號 自信のある生活と自信  
無い生活、趣情好む好む、新衣、新衣、  
其趣情好む好む、新衣、新衣、  
網羅するもの（定價金拾五錢東京市牛込  
市ヶ谷加賀町社）

女の世界 月報 例によつて格式好  
式な文章を發揮する例によつて格式好

精巧なる模倣を彫刻し左側に松村  
 楠守鋳ありと松との相違はあれ  
 ども恐く同人ならんと思はる或は年  
 を經て文字磨滅し李と見誤りに非  
 か因楠守の製銀數枚朝鮮に殘りあ  
 こそは同人は往昔朝鮮に居住せし  
 本銀工かご推察されざるにも非ず  
 者の示を依り因楠守研究者▲  
 頃客居や活動寫真などに出ず  
 帶圖に並々南京島の居るは閉口  
 櫛三時開座つて五錢といふ高價  
 料料を拂ふのだから最少し清潔に  
 て此より大いものだ演説狂▲本町  
 開通ていの一帯に乗つた者は僕だ  
 の商額とても云つた様な感じがし  
 ぬ之を記念する(露訪月將園生)

めきしたがまだ「自然の髪の色」都合よく染らね、髪の度し事は充分いが染色が餘り不目然と歸來自由の因ると言つて是れも正確とした

毛を染める必要のある人々が、うして尙非常な自由を感ぜられた所へ、漸々成程實されたの今、最も進歩した白髪、赤毛、紫毛、黒毛等、各家庭に實用れるナイスです

成程専門の學者が長い間研究を續けて完成したわけであつて、ナイスで染めると少しも腫えらしい所が無何うしても染めたとは見えず、丁生れつゝ毛の美しい人の髪をやう



一様したた塵此識日る代と過

鐵山用水  
**水銀**  
新荷蘭  
保稅品有

京都本町二丁目  
釘本藤次郎本店  
電話廣四五番二七七四番

科醫院  
(日丁三舊)  
士學  
潔  
(番八九四)

汕頭 營口丸	三浦丸	襄陽丸	嘉島丸	忠清丸	昌寧丸	咸鏡丸	全羅丸
每 日	九月四日	每 日	八月一日	九月三日	九月六日	九月九日	九月十五日
金山發	釜山發	釜山發	釜山發	元山發	元山發	釜山發	釜山發

[illegible]

「書を眞に受け居つたよ。されば  
姫路城中に於ても、眞底より和牛の  
挨拶致し居つたであらう故、流石の  
筑前も乗つたこやかや。」  
「叔父御が近來の大出来ぢや、アハハ、  
へ、へ、と盛政が、更に高らかに  
に笑つた時、次間から、  
『首尾は如何ぢやつたか？』  
「我等ぢや」と云ひつゝ、ねつと  
進入つたは瀧川左近將監である。  
「左近か」と兩人は柔和やかに  
迎へて。  
『首尾は上々ぞ！』  
『筑前承知のし居つたか。』と云つた  
と坐つた。  
「承知も承知、先方より望む所であ  
つたぢや……」と盛政は利家が使者  
の始終を要數物語つた。  
「お、と一益は瞞か眉を顰めて。  
「些と怪しうのう。」  
「何が怪しう……」と盛政は氣色は

したか、待てども、歸つて来ない。  
『はて、不思議なことがあるものぢや……』と更に、城郎黨の倉知仁太夫を、雲水に身を扮させて、絶路へ遣はした。  
仁太夫は雲水姿で、是から、長崎から近江路、それから京洛を通つて、城州堂等近くまで来る、遙か、後方から、一人の修験者が近づいて。  
『雲水殿！雲水殿！』  
『オ、これは修験者……』と仁太夫は、願ひいて。  
『御身は何處より……』  
『私は見るゝ通り、の者、昔の武藏坊の口よりなれど、禪所靈所を跋扈して修業の致すぢやよ。して、雲水殿、御坊はナ……』  
『愚僧もこれ、見るゝ通り、雲水閣下石土を宿として何處を當と云ふ次第も御坐るぢや。』  
『常無……』

現代人の理性 慷慨は前代人のそれと相違するは當然の事であり、此の相違せるものは形式に現はさんとさるるには其表現の方式を異にする又自然の事である。詩歌の内容は自我其ものに對する、他人に對する、もの、他人に對する、外界自然に對する、未知の神祕に對する等の生活の何ゆるものを對象とする。而して短歌に就て見るに（續編に云）「現代人の生活は現代人の言語其も内容で現はすべきものであるが、限りなく内容を含みある外形に包含せんに由る外形に一定の整形美を規定するの必要を生ずるのである」

「さうして、此の整形的言語も成べく現代人の耳障りとなり、風味を感ぜさせるものを省かなければならぬ、讀んだばかりでゴマミのザラ／＼する如き脈味がある言語を使はれては其の者を味はふ氣にもなれぬ、口實調にて何んである、何ん」とするの

[illegible][illegible]

色澤に染みこみ、又年々若くも非常に清潔な感じ、又年々若くも非常に不潔な感じが、無自覚に、何の色彩に染み、其上染方は、何の動作もなく、時間は僅かに二十分で済み、保はよく、外へは絶対に閉せぬから、今では白髪染といへば、大阪丹平商會發賣のナイス髪を染めるのが極のやうに成ります。一度ナイスを使つた方は、二度再びど外の染毛劑をお使ひになられん。もしも未だナイスを使つたのない方は早速試して御覧なさい。此度御満足なさに違ひありません。發賣は有名人健勝本舖大阪、東京、丹平商會、東京、日本橋區、平太店、定價は小瓶三十五錢、男中、廿五錢、丸瓶六十錢。各薬店、店、店、小間物店にあります。僅の違ひの、廉い染毛劑を買って御後悔遺すな。

油醬上最  
歷川仁縣朝  
場造釀油醬杉高

順天丸	三	日	每	木浦發	
慶興丸	八	月	一	日	木浦發
公州丸	九	月	一	日	木浦發
宗溪丸	九	月	二	日	仁川發
江原丸	九	月	二	日	仁川發
初鷹丸	九	月	四	日	仁川發
各港經本湖行					
平陽丸	每	日	午	前	仁川發
平安丸	九	月	三	日	群山發
法株	大星門司	水浦門司	若松行		
鹿角門司	二水浦	群山行			

漢江  
漢津  
春川  
行出帆廣告

日本形帆船に致し人勝夫二名を乗せ荷物の運送に致し奉川迄(北四日五廿切)は三日に著き(頭家船)は(便便利)き元が御引立名(船主)に頼上り(四回寄)

元被府副島運送店  
京城取次店取張酒井運送店  
電話三九九

本浦	釜山、長崎行	八月廿九日	午後二時
安東	大智丸	九月一日	午後二時
鎮南浦	大通行	九月五日	午後二時
天智丸	九月十三日	午後二時	
群山	橫濱行	八月一日	正午出帆
群山	釜山、橫濱行	九月十四日	午後四時
千珠丸	イイナ丸	九月三日	午後四時
大連行	イイナ丸	九月九日	正午出帆
元山	神宮丸	九月十七日	午後九時
神宮丸	九月十七日	午後九時	
他津丸	九月二日	午後九時	
上海	基隆、打狗行	九月五日	午前十時
新高丸	九月五日	午前十時	

注：朝陽丸往來南洋諸港並寄札との船單並  
意：郵船客票不船期以外一時開附寄送  
仁川切符發賣所大阪商船會社支店  
電話二三〇六番  
發賣所 內國通運會社支店  
電話七七〇八番

\_\_\_\_\_